

クラス番号	245	ゼミタイプ	NPO サービスラーニング型
		担当教員名	藤井 渉
テーマ	市民活動の体験を通して学ぶ、市民社会の創造		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

多くの福祉制度は、もともとは草の根的に、名も無い人たちの手による市民活動として広がり、それが社会的に必要なだと認められ、国の事業として制度化されてきた背景を持ちます。市民活動によって、さまざまな人が暮らしやすい社会を創り出してきたと捉えることができます。

市民活動を行う団体は NPO とも呼ばれ、民間の非営利組織ともされます。NPO は、自発性にもとづく参加がポイントとなります。そして、市民活動が展開するフィールドは市民社会と呼ばれ、政府でもなく、市場でもない、そして家族などの親密圏でもない部分となります。そして、少し難しい話に聞こえるかも知れませんが、市民社会には、アドボカシー機能、サービス供給機能、市民育成機能という機能があるとされています。よく NPO が取り上げられる場合、福祉サービスの提供といった、サービス供給機能ばかりに着目されがちですが、誰かの人権を守ったり、自発的に市民社会を創っていったり、新しい価値を創っていったりする側面も大事で、このゼミでは、そのことを意識して学びを深めてもらいたいと思っています。

平たく言うと、社会にある問題を発見し、問題を解決していくために自発的に社会に働きかけていくこと、あるいは、みなさんが、このゼミに参加すること自体が、私たちにとって、市民社会の創造にとって意味のあることであったりすることを、理解できるようになることが目的となります。

NPO の現場から市民活動を知り、自身が市民社会の一員として社会に参加し、社会を創り、どう動かしていくことができるかを学びましょう。

授業計画：

4・5 月 NPO や現地の課題・ニーズを知る

6・7 月 地域貢献活動の計画を練る

8・9 月 NPO での地域貢献活動

10・11 月 活動の振り返りと報告会

12・1 月 グループ研究

担当教員からのメッセージ



いま障害者福祉の現場で起こっている問題をできるだけマクロな視点から観察し、歴史に軸足を置きながらその改善に役立てる研究と教育を心がけています。歴史に軸足を置くということは、ものごとを時間軸で捉えることであり、過去を理解することで今何が起きているのか、今後どうなっていくのかが少しずつ見えてきます。そのようなある種の社会の「流れのようなもの」が見えてくると、自分だったらどう働きかけて、軌道修正を図っていくのか、その具体的な実践内容についてじっくりと腰を据えて考えることができるようになります。それを知ってもらえることで、少しでも社会に対して主体的に向き合えるための一助になればと期待しています。